ベビーマッサージベーシック講座 ケーススタディルール

受講生が試験時にケーススタディ報告書を正しく提出できるよう、担当講師は授業の際に説明してください。
▶提出に関して…専用ドロップボックスに保存する。保存先ドロップボックスの情報は
試験の事前（試験の１週間前を目安）に事務局から受講生にする。
▶提出内容...<ケース1組につき以下を提出>
・クライアントプロフィール
・ケーススタディ開催報告書
・まとめ

▶ルール
・従来通りの対面での開催、オンラインでの開催、どちらでも可能とする
（どのように組み合わせても良い）
<対象者>
ベビマ2組・おくるみタッチケア2組(内1組様妊婦OK。)
・おくるみ→新生児~生後 2 ヶ月までの赤ちゃんとママ(例:1 月 23 日生→4 月 22 日まで 2 ヶ月)
・ベビマ→0歳~1歳6ヶ月までの赤ちゃんとそのママを対象とする。
・家族、ベビーマッサージベーシック有資格者、おくるみ有資格者、受講中の方をケースモデル にするのは不可。

<添付写真について>
・各教室の再現とわかる写真を提出
・オンラインでの開催の場合は、お客様とのスクショを提出
・対面の場合も、オンラインの場合も、日付け入りの写真とする(日付の手書きは不可)
・オンライン・対面どちら共にお客様・受講生、それぞれの顔が確認できるようにする。
・おくるみタッチケア教室はお客様・受講生、それぞれのドーナツベッドも写っている写真とする。
・写真はレポートに貼り付ける

<開催回数・日程について>
・ベビマ1ケースにつき継続の親子に全3回開催する。(2ケース×3回=合計6回)
※1回の教室に2組以上の親子が参加しても1カウントとする。
・おくるみタッチケアは1回ずつ開催。(合計2回)
・ベビーマッサージ教室の開催の間隔は中2日以上空け、1ヶ月以内に行うこと。

＜おくるみタッチケア諸注意＞
・くるむ際もタッチケアを行う際も、必ずドーナツベッドの上で行う（お客様、受講生共に）
・おくるみはRTA指定のものを用いること（お客様、受講生共に）
▶ケーススタディの報告書に不備があった場合、ディプロマの発行、ライセンスの発行を見合わせる。
※ベビマ・おくるみ共に、１回目が試験日より６ヶ月以上前のケーススタディは無効とする。

20231003発行